

平成26年第1回洞爺湖町議会臨時会

議事日程(第1号)

平成26年1月17日(金曜日)午後 2時開会

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
日程第 2 諸般の報告について
日程第 3 会期の決定について
日程第 4 行政報告について
日程第 5 議案第1号 町道の廃止について
議案第2号 町道の認定について
日程第 6 議案第3号 町道の路線変更について
日程第 7 議案第4号 平成25年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算(第9号)

本日の会議に付した事件

日程第1～日程第7まで議事日程に同じ

出席議員(13名)

1番	宮田敏夫君	2番	小松晃君
3番	松井保明君	5番	板垣正人君
6番	佐々木良一君	7番	篠原功君
8番	岡崎訓君	9番	下道英明君
10番	越前谷邦夫君	11番	沼田松夫君
12番	大西智君	13番	七戸輝彦君
14番	千葉薫君		

欠席議員(1名)

4番 立野広志君

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	真屋敏春君	副町長	八木橋隆君
総務部長	木村省平君	総務課長	毛利敏夫君

企画防災課長	大	西	康	典	君	税務財政課長	伊	藤	里	志	君
住民課長	遠	藤	秀	男	君	健康福祉課参事	皆	見		亨	君
経済部長	宮	崎	正	紀	君	観光振興課長	澤	登	勝	義	君
産業振興課長	鈴	木	清	隆	君	建設課長	高	橋	泰	夫	君
環境課長	室	田	米	男	君	上下水道課長	八	反	田	稔	君
シ・オパーク推進課長	武	川	正	人	君	洞爺総合支所長	森		寿	浩	君
庶務課長	藤	川	栄	治	君	農業振興課長	山	本		隆	君
会計管理者	庄	子	俊	悦	君	洞爺湖温泉支所長	木	村		修	君
教育長	綱	嶋		勉	君	管理課長	天	野	英	樹	君
社会教育課長	永	井	宗	雄	君	学校給食センター長	佐	藤		正	君
農業委員会事務局長	藤	川	政	明	君						

職務のため出席した者の職氏名

事務局長	佐	藤	正	人	庶務係	猪	股	幸	子
議事係	平	間	義	陸					

◎開会の宣告

○議長（千葉 薫君） ただいまの出席議員は13名であります。

立野議員から、欠席の届け出があります。

定足数に達しておりますので、ただいまから平成26年第1回洞爺湖町議会臨時会を開会いたします。

（午後 2時00分）

◎初議会の挨拶

○議長（千葉 薫君） 会議に先立ちまして、平成26年の初議会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

改めて、新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご健勝にて平成26年の新春をお迎えのことと、心よりお喜びを申し上げます。

さて、昨年も大きな災害が続きましたが、その中でも伊豆大島の台風被害によるものは36名の方がお亡くなりになり、いまだ3名の方が行方不明の状況であります。町長とお見舞いにお伺いした庁舎には、亡くなられた方や不明の方のお名前が張り出されており、命の重さを改めて感じたところであります。避難の問題もあったようですが、改めて町民一丸となった災害に強いまちづくりが望まれるところであります。

昨年は議会として、ことし姉妹提携50周年となる箱根町、イルミネーションでお世話になっております御殿場の時之栖へ、視察へ行って参りました。いろいろ勉強をさせていただいたと思っておりますが、今後とも、このつながりを大事にしていかなければならないなどというふうに思っております。

町におきましては、直近の課題として硬水化対策は必要な課題でありまして、また地域公共交通の検討、学校統合、子育て支援、定住・移住対策、各産業の対策など、財政状況には明るさは見えているものの、懸案事項は山積していると考えております。今後とも町民の皆さんのご理解をいただきながら、前進をしていただきたいと思いますところであります。

議会では、議会報告会、町民との懇談会などを通じて、町民の方々からさまざまなご意見、ご要望をいただいておりますが、今後とも町民の皆さんの声が町政に反映されますように、一緒に取り組んでまいりたいというふうに思っております。本年も洞爺湖町がますますにぎわいと潤いを増していきますよう、皆さんとともに努めてまいりたいと思います。

本年も変わらぬご指導をお願い申し上げ、年頭の挨拶にさせていただきます。ありがとうございました。

次に、町長から、年頭に当たり挨拶の申し出がありますので、これを許します。

真屋町長。

○町長（真屋敏春君） 改めまして、明けましておめでとうございます。平成26年の初議会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、ご健勝にて新しい年をお迎えのことと拝察し、心からお喜びを申し上げます。

昨年1年を振り返って見ますと、昨年9月に世界ジオパークネットワークから、洞爺湖有珠山ジオパークが再認定されました。防災教育活動への積極的な活用やジオサイトの保全活動、さらに観光関係者との連携によるジオパークの宣伝活動など、地域住民と関係機関が一体となった取り組みが、高く評価された結果だと考えております。今後も地域の皆様や関係機関との連携の強化を図り、質の高い活動に取り組んでまいりたいと考えております。

各種イベントにおいても、洞爺湖マラソンでは7,300人の参加をいただき、また4年目の洞爺湖マンガアニメフェスタでは4万9,000人の方が参加され、年々増加の傾向にあります。さらには、アイアイマン・ジャパン北海道の初開催など、観光振興に大きく成果を残すことができました。その結果、観光客の入り込みも宿泊者数は一昨年、昨年を上回り、東日本大震災で減少した状況から回復傾向にあり、洞爺湖温泉の観光に明るい兆しが見えてまいりました。

町の財政状況も一昨年、財政健全化団体から1年前倒しで脱却し、さらなる財政構造の健全化を進めてまいりましたが、本年度におきましては、実質公債費比率18%未満の基準を達成し、起債許可団体からも脱却できるところまでやってきました。ことしにおきましては、昭和39年7月に箱根町と姉妹都市提携を結んでから50年目の節目の年に当たります。この50年の変遷と、今後さらなる両町のきづなを深める出発点として、洞爺湖町で式典を開催し、両町の友好と親善に寄与することを宣言する機会といたします。

また、地域の方々が安心して飲める上水道の整備や災害に強いまちづくりを推進するため、防災行政無線、消防無線の整備や的確な情報伝達手段の構築と避難訓練を実施しながら、地域防災機能の充実を図り、安心・安全に住めるまちづくりを目指してまいり所存であります。

最後になりますが、町民の皆様、議員各位の皆様、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げ、年頭に当たってのご挨拶といたします。

◎開議の宣告

○議長（千葉 薫君） これから、本日の会議を開きます。

◎会議録署名議員の指名について

○議長（千葉 薫君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、会議規則第117条の規定により、5番、板垣議員、6番、佐々木議員を指名いたします。

◎諸般の報告について

○議長（千葉 薫君） 日程第2、諸般の報告を行います。

諸般の報告は、お手元に配付のとおりでありますので、これでご了承願います。

ここで、議会運営委員会の所管事務調査の報告を願います。

佐々木委員長。

○議会運営委員会委員長（佐々木良一君） 議会委員会の所管事務調査報告をいたします。

本委員会は、第1回洞爺湖町議会臨時会の運営について、平成26年1月14日に委員会を開いております。

出席は、私、下道副委員長、宮田委員、小松委員、板垣委員、大西委員。委員外として千葉議長、七戸副議長。説明員として、八木橋副町長の出席をいただいております。

結果につきましては、第1回洞爺湖町議会臨時会を1月17日とすることで、議事日程については、本会議でございます。

以上でございます。

◎会期の決定について

○議長（千葉 薫君） 日程第3、会期の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（千葉 薫君） 異議なしと認めます。

したがって、会期は、本日1日と決定をいたしました。

◎行政報告について

○議長（千葉 薫君） 日程第4、行政報告を行います。

町長並びに教育長から行政報告の申し出がありますので、これを許します。

初めに、町長の行政報告を許します。

真屋町長。

○町長（真屋敏春君） 平成26年第1回洞爺湖町議会臨時会に当たり、町の行政報告を申し上げます。

一つ目に、寄附についてでございます。このたび、次の方々より寄附の申し出があり、ご厚志に添うよう、ありがたく受納いたしました。一つには、金品の寄附でございまして、アとして、住所、金額につきましては非公開で、朝倉啓友氏、イとして、室蘭市東町2丁目27番4号、北海道みらい法律事務所、弁護士で増川拓氏、金額については非公開でございます。ウとして、洞爺湖町泉34番地1、土井鉄雄氏、金額1万円でございます。エとして、匿名、金額40万円、オとして、これも匿名、金額10万円でございます。二つ目、金品の寄附、アといたしまして、これは匿名でございますが、18件、金額として613万5,000円でございます。

二つ目に、洞爺湖町地域防災計画の見直しについてでございます。

これまでの災害の教訓や災害対策基本法の改正、北海道地域防災計画の修正等を踏まえ、新たな津波被害の想定、有珠山噴火災害対策の拡充や避難訓練などを進めていくための防災、

減災対策を反映させる洞爺湖町地域防災計画の見直しを進めているところであります。昨年12月19日に平成25年度第1回洞爺湖町防災会議を開催し、町の地域防災計画の修正素案についてご審議をいただき、3月末までには確定したいと考えております。

三つ目として、PCB飛散事故に係るメルタワー21の排ガス調査及び大気環境調査の結果についてでございます。

昨年10月8日に発生いたしました虻田中学校における蛍光灯器具破損によるPCB飛散事故につきましては、漏洩した油を拭き取ったウェス3枚が西いぶり廃棄物広域処理施設「メルタワー21」に既に搬入、焼却処理をされていたことから、PCB汚染物が焼却処理されたと推察される10月9日から23日までの間に運転中であったメルタワーの煙突1系及び2系の排ガス中のダイオキシン類及びPCB濃度の測定を専門機関に委託し、11月6日に実施したところでありますが、測定結果について、昨年12月10日に、次のとおり通知があり、特に問題となる数値の上昇は見られませんでしたので、報告いたします。

また、西いぶり広域連合が毎年1回実施する周辺4地域での大気環境調査が11月5日から11月12日までの間、一部地域では11月1日から11月8日に実施されており、この結果についても、問題となる数値の上昇は見られないと昨年12月25日に連絡がありましたので、あわせてご報告させていただきます。

なお、排気ガス調査の結果等々については、朗読を省略させていただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（千葉 薫君） 以上で、町長の行政報告を終わります。

次に、教育長の行政報告を許します。

綱嶋教育長。

○教育長（綱嶋 勉君） 教育委員会の行政報告を申し上げます。

洞爺湖町の成人式についてでございます。

洞爺湖町の成人式は、平成26年1月12日に、洞爺湖町役場防災研修ホールにおいて、新成人該当者105名のうち、町内外から、男性、女性合わせて、合計84名が出席し、また、多数のご来賓の方々のご列席をいただき、新成人に対し祝福をいただきました。新成人を代表して、細江亮太さん、櫻井里衣さんが二十歳の誓いの言葉を述べられ、和やかな雰囲気の中で式典が行われました。式典の後の成人のつどいでは、それぞれの中学校当時の担任の先生から祝辞をいただくとともに、思い出話に花を咲かせ、また、各中学校の卒業アルバムのスライド上映のほか、地元特産品や商品券などが当たる抽選会が行われ、抽選番号に一喜一憂しながら会場が盛り上がりを見せ、晴れやかな新成人の門出をお祝いする集いとなりました。

以上でございます。

○議長（千葉 薫君） 以上で、行政報告を終わります。

◎議案第1号及び議案第2号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（千葉 薫君） 日程第5、議案第1号町道の廃止について及び議案第2号町道の認定

についてを一括して議題といたします。

提案理由の説明を一括して求めます。

八木橋副町長。

○副町長（八木橋 隆君） 議案第 1 号町道の廃止についてでございます。

道路法（昭和27年法律第180号）第10条第 1 項の規定により、町道路線を次のように廃止するものでございます。今回の町道の廃止につきましては、都市計画道路幅で整備された道道インター通り区間の区域変更告示に伴い、町道虻田ビワオク線、栄町三豊線が分断されることから、2 路線について一旦廃止をするものでございます。

それでは、議案説明資料の 1 ページをご参照いただきたいと思います。

まず路線番号 3、路線名、虻田ビワオク線でございますが、起点、泉 7 番 1、終点、栄町 59 番 1、延長1,630.52メートルでございます。

次に、路線番号 9、路線名、栄町三豊線でございますが、起点、栄町35番 4、終点、三豊 14 番、延長946.07メートルでございます。

次に、議案第 2 号町道の認定についてでございます。

道路法（昭和27年法律第180号）第 8 条第 2 項の規定により、町道路線を次のように認定するものでございます。

一旦廃止しました虻田ビワオク線及び栄町三豊線の 2 路線について、道道インター通りの区間を除き町道に認定するものでございまして、路線名につきましては、虻田ビワオク線は現行どおりとし、栄町三豊線につきましては道路現況を踏まえ、自治会と協議・調整の上、さわやか小学校山通り線に改めるものでございます。

また、路線の起終点の設定につきましては、洞爺湖町道路認定等に関する取扱規定に基づき、上級路線の接点を起点と定めたところでございます。

それでは、議案説明資料の 2 ページをご参照いただきたいと思います。

まず、路線番号 3、虻田ビワオク線でございますが、起点は高砂町113番、終点は泉 5 番 1 でございまして、延長は1,077メートルでございます。

次に、路線番号324、さわやか小学校山通り線でございます。起点は栄町82番13、終点は栄町35番 6 でございまして、延長587.30メートルでございます。

なお、道道インター通り線とさわやか小学校山通り線の交差する区間につきましては、さわやか小学校山通り線の道路区域に含め、認定するものでございます。

以上でございます。よろしくご審議のほどをお願いいたします。

○議長（千葉 薫君） 提案理由の説明を終わります。

これから、一括して質疑を行います。質疑ありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（千葉 薫君） 質疑なしと認めます。

これから、討論と採決をそれぞれ行います。

まず、議案第 1 号町道の廃止について、討論ありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（千葉 薫君） 討論なしと認めます。

これから、議案第1号町道の廃止についてを採決いたします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（千葉 薫君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第1号町道の廃止については、原案のとおり可決されました。

次に、議案第2号町道の認定についてを、討論行います。討論ありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（千葉 薫君） 討論なしと認めます。

これから、議案第2号町道の認定についてを採決いたします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（千葉 薫君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第2号町道の認定については、原案のとおり可決されました。

◎議案第3号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（千葉 薫君） 日程第6、議案第3号町道の路線変更についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

八木橋副町長。

○副町長（八木橋 隆君） 議案第3号町道の路線変更についてでございます。

道路法（昭和27年法律第180号）第10条第2項の規定により、町道路線を次のように変更するものでございます。

議案説明資料の3ページをご参照いただきたいと思います。

今回の路線変更につきましては、都市計画海岸通り整備事業実施のため、終点の変更を行うものでございまして、路線番号313海岸通り線の終点を本町8号線の浜町20番の4から、本町3号線の本町58番1に、延長を542.5メートルから802.2メートルに変更するものでございます。

以上でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○議長（千葉 薫君） 提案理由の説明を終わります。

これから、質疑を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（千葉 薫君） 質疑なしと認めます。

これから、討論を行います。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（千葉 薫君） 討論なしと認めます。

これから、議案第3号町道の路線変更についてを採決いたします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（千葉 薫君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第3号町道の路線変更については、原案のとおり可決されました。

◎議案第4号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（千葉 薫君） 日程第7、議案第4号平成25年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第9号）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

八木橋副町長。

○副町長（八木橋 隆君） 議案第4号平成25年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第9号）でございます。

平成25年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第9号）は、次に定めるところによる。

第1条、歳入歳出予算の補正でございます。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,980万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ72億4,456万1,000円とするものでございます。

それでは、事項別明細書、3ページでございます。

歳入でございます。

15款道支出金、2項道補助金、5目農林水産業費道補助金でございます。1,980万円の増額でございまして、1節農業費補助金では、小麦乾燥施設導入事業に対する補助金を、3節水産業費補助金では、貝洗浄機械整備事業に対する補助金を計上したところでございます。

次のページ、歳出でございます。

4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生管理費でございます。400万円の増額でございまして、健康福祉センター別館改修工事の増加により増額するものでございます。

次に、6款農林水産業費、1項農業費、2目農業管理費でございます。1,774万6,000円の増額でございまして、歳入で申し上げました小麦乾燥施設導入事業に対する補助金の計上でございます。

次に、3項水産業費、1目水産業振興費でございます。260万円の減額でございまして、工事請負費につきましては、虻田漁港大磯分区埋め立て工事の執行残の減額。負担金補助及び交付金につきましては、歳入で申し上げました貝洗浄機械整備事業の補助金を計上したところでございます。

次に、7款商工費、1項商工費、1目商工振興費でございます。100万円の増額でござい

ます。ジオパーク推進協議会で商品開発いたしました、ジオピザの成形木地を販売店に安定的に供給するため、事業者の有償で貸し付ける小型ピザ円転機の購入費を計上したところでございます。

次のページでございます。10款教育費、3項中学校費、1目中学校管理費でございます。514万2,000円の増額でございます。虻田中学校校舎耐震化工事実施設計費を計上しました。

次に、13款予備費でございます。548万8,000円の減額でございます。

以上でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

○議長（千葉 薫君） 提案理由の説明を終わります。

これから、質疑を行います。質疑ありますか。

3番、松井議員。

○3番（松井保明君） ただいま副町長から、補正予算の関係、説明受けました。

それで私、ちょっと勉強不足で恐縮です。申しわけありませんけれども、農林水産事業補助金というのが目に出ていますけれども、説明では地域づくり総合交付金という名前になっております。それが二つに分かれていまして、この交付金が我が町の基幹産業含め、学校から初め商工にわたって補正を出ているわけなのですからけれども、これは性格的にどういう性質のものの交付金なのか。

2番目には、ちょっと当初予算見ていませんけれども、当初予算の中でこういう事業を行うということでのっていたものかどうか。

3番目には、この交付金事業は、地域づくりとなりますから、毎年こういう項目が、こういう交付金というのか、名前のものがあって、これに関係する予算を組めるということになっているのかどうか。

この3点、ちょっと説明してください。

○議長（千葉 薫君） 伊藤税務財政課長。

○税務財政課長（伊藤里志君） まず交付金の性質でございますが、これにつきましてはここで書いておりますとおり、これは道補助金でございます。地域の産業振興だとか、その辺の事業に対する補助金でございます。

それと、2番目としまして、当初計上があったかということでございますが、これにつきましては今回補正で計上しておりまして、当初からの計上は見込んでいないところでございます。

それと、毎年計上するかどうかという部分でございますが、これにつきましては地域総合整備交付金というのは道の補助金でございます。それは道としまして毎年予算を持っております。それに対して、市町村の事業に対して認められたものについては補助をつけていただいているということで、当町としましては今回につきましては、小麦の乾燥施設とあとは貝洗浄施設の補助金を要望した中でついたということでございます。

○議長（千葉 薫君） 松井議員。

○3番（松井保明君） そうすると、毎年、道の関係で補正が、予算が組めるのかなという感

じするのですけれども、この場合は、それであれば当初から予算として組んでいけないものかなと思うのですね。その辺はどうなのですか、当初から。

○議長（千葉 薫君） 伊藤税務財政課長。

○税務財政課長（伊藤里志君） 事業が、該当するものについては当初予算から計上し、道に要望しているところでございます。それで今回の補正でございますが、これにつきましては、北海道全体というか、中でこの補助金がまだ残っていたという部分の中で、当町としましてもその中で小麦の乾燥と貝洗浄のものについて要望をし、それが認められたという経緯でございます。

○議長（千葉 薫君） 松井議員。

○3番（松井保明君） 小麦のほうは結構でございますけれども、もし、農業団体から農業関係者から、こういうものを設置してほしいという要望があった場合は、こういった補正なり組んで計上できるかどうか。水産に関係している面であれば、その中では貝を洗うものとなっていますけれども、ほかに水産関係でということになれば、そういう点ではもう決められているのかどうか。完全にこれとこれと決められているものか、それともその年の道の予算の状況によっては、今、担当課長が、何か残っていたというのですか、予算が余っていたというか、そういうゆとりがあるということから出ていますから、そうすると何か政治的な問題、いろいろ要求していくのかなという感じもしないわけではないのですよ。ですから、要するに現場で、農業とか水産関係で何かそういうものをしてほしいといったときには、こういう交付金を受けられるのかどうか、これ最後にお聞きしたい。

○議長（千葉 薫君） 鈴木産業振興課長。

○産業振興課長（鈴木清隆君） 水産のほうで申し上げさせていただきたいと思います。

今回、貝洗浄機械整備事業という形で、沖洗い機というのを整備させていただきました。この目的という部分では、沖合でザラボヤ等の貝の残渣物を除去できるという部分で、とても効率性のよいものであります。そうした部分で、補助の対象となるべきものかどうかという部分では、やはり漁業者の経済的なプラスになれば、それと有効的にまた安全な操業ができるという目的の中で、補助という対象でやらせていただいております。その部分につきましては、農業に関しても同じかと思えます。

また、この時期にということで、補正という形で上げさせていただきましたけれども、これは平成26年度からの要望の中で、道に申請をしていこうという考えを持って漁業協同組合と協議をしていたところですが、道の地域づくり総合交付金が平成25年度で予算が残っているという部分の中で、この時期ではありますけれども、対象となる部分に関して再度、25年度で上げさせていただきまして、事業をやって成果を上げていくという形で、今回出しております。

以上です。

○議長（千葉 薫君） 真屋町長。

○町長（真屋敏春君） 今回の地域づくり交付金でございますが、実質補助金が2分の1にな

ります。当初予算で組むときには、それぞれ農協さん、あるいは漁協さんのほうで今年度こういう事業をやりたい、もちろん自前の負担金もございますので、それらことしについては無理かなということで、当初では計上しておりませんでした。しかし、今、担当課長が話したとおり、25年度で地域づくり交付金、まだ若干の道全体として余裕があったということから、私どものほうは農協さん、漁協さんのほうに相談いたしまして、2分の1の手出しはあるけれども、こういうふうなものがつくよというお話をさせていただいて、あとは我が町にそれだけの補助金を持ってくる等々については、これは政治的な駆け引きがございますので、そちらのほうを利用させていただいて、今回持ってきたという内容でございます。

○議長（千葉 薫君） ほかに質疑ありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（千葉 薫君） これで、質疑を終わります。

これから、討論を行います。討論ありますか。

〔「なし」と言う人あり〕

○議長（千葉 薫君） 討論なしと認めます。

これから、議案第4号平成25年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第9号）についてを採決いたします。

お諮りします。

本案は、原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（千葉 薫君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第4号平成25年度虻田郡洞爺湖町一般会計補正予算（第9号）については、原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長（千葉 薫君） 以上で、本日の日程は、全て終了いたしました。

これで、本日の会議を閉じます。

平成26年第1回洞爺湖町議会臨時会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

（午後 2時34分）